



シンポジウム
社叢が紡ぐ地域の絆
～いのちと心を守る鎮守の森

東北は

よみがえる。

ドナルド・キーンが

上田正昭が

日本文化と復興にかける思いを語る。

11月16日(水)に
学士会館(東京都千代田区神田錦町3-28)で

主催 NPO法人社叢学会

社叢が紡ぐ地域の絆～いのちと心を守る鎮守の森

日時：2011年11月16日(水) 13:00～17:00 (受付開始：12:00)

会場：学士会館2階210号室(東京都千代田区神田錦町3-28 tel 03-3292-5936)

地下鉄都営三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車A9出口1分

東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a出口から徒歩5分「東京」駅北口からタクシー10分

定員：300人(申し込み先着順)

参加費：社叢学会会員 1人1,000円 一般 1人1,500円

スケジュール：

13:00～13:05 開催挨拶 上田正昭・NPO法人社叢学会理事長

13:05～14:05 講演：危機の後の文化 ドナルド・キーン社叢学会名誉顧問

14:05～14:20 対談：キーン名誉顧問・上田理事長

14:20～15:20 講演：鎮守の森と日本文化 上田正昭理事長

15:30～17:00 パネルディスカッション：社叢が伝える復興の道標

被災社叢調査報告を交えて

パネリスト：広井 良典(千葉大学経済学部教授)

森本 幸裕(社叢学会理事・京都大学地球環境学堂・学舎

地球親和技術学廊 景観生態保全論教授)

糸谷 正俊(社叢学会理事・日本公園緑地協会調査役)

コーディネータ：蘭田 稔(社叢学会副理事長・京都大学名誉教授・秩父神社宮司)

ドナルド・キーン(社叢学会名誉顧問・コロンビア大学名誉教授)：1922年ニューヨーク生まれ
16歳でコロンビア大学文学部に入学。A. ウェイリー訳『源氏物語』に感動し、日本語を学び始めると共に、日本研究の道に入る。第2次世界大戦時には海軍に勤務し、日本語の通訳官を務めた。復員後コロンビア大学に戻り、助教授、教授を経て、名誉教授。古典から現代文学まで研究対象の幅は広く、『奥の細道』の英訳のほか、『日本文学の歴史』『百代の過客』『明治天皇』など著書多数。2008年に文化勲章受章。

上田正昭(社叢学会理事長・京都大学名誉教授)：1927年兵庫県生まれ 京都大学文学部卒業後、同大学助教授、教授を経て、名誉教授。日本古代史を中心に神話学・民俗学などを視野に入れ、広く東アジア的視点から歴史を究明。著書に『日本神話』『古代伝承史の研究』『東アジアの中の日本』など多数。2002年に社叢学会を設立、理事長に就任。2003年勲二等瑞宝章、2009年に韓国大統領修交勲章。

申し込み・問合せ：NPO法人社叢学会

〒604-8115 京都市中京区雁金町373番地 みよひビル303号

TEL：075-212-2973 FAX：075-212-2916 E-Mail：shasou@ams.odn.ne.jp

参加申込書

FAX：075-212-2916 E-Mail shasou@ams.odn.ne.jp

お名前

携帯電話番号・
携帯アドレス等当日連絡先